

技術家庭科（技術分野）	第 2 学年	使用教科書・教材等	「新編 新しい技術・家庭 技術分野」東京書籍 ファイル その他	担当者	奥田邦弘
【学習目標】 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成を目指す。					
◎目指す授業は…聞く、話す、考える、行動することが自主的にできる態度を身につける。 ○生活に必要な技能と知識を身につけることができる。 ○進んで生活を工夫し創造する能力を身につけることができる。 ○積極的に作業したり、個性を最大限に活かした作品作りをしたりする実践的な態度を身につける。					

授業の時のアドバイス	家庭学習の時のアドバイス
私たちの生活の中で欠かすことのできない生物の育成技術、機械などの仕組み、ロボットなどの制御について実習を通して基礎的な技能や知識を身につけていきます。 ○授業をしっかりと聞こう ○ノートをしっかり取ろう。 ○見方・考え方を働かせてさまざまな問題を解決していこう。 ○学習したことを活かして、実習に取り組んで行こう。	○ノートや教科書の内容を復習しよう。 （次の時間の作品作りの見通しが持てるようになります） ○学習したことを生活に活かそう。 （生活を工夫し創造する能力と実践的な態度が大切です） ○技術に関するニュースなどにも注目していこう。

学期	学習する内容	学習の狙い（身につけたい力）	授業で使うもの
1 学 期	2 編 生物育成の技術 1 章 生物育成の技術原理・法則と仕組み ・生物の育成環境を調節する技術 ・生物の成長を管理する技術 2 章 生物育成の技術による問題解決 ・生物の育成計画 3 章 社会の発展と生物育成の技術	○様々な生物を育てる技術とその特徴について分かる。 ○地域で生産されている特産物とその特徴を調べまといめることができる。 ○育成する目的に合わせて栽培計画を立てることができる。 ○生物育成の技術の光と影について考えることができる。	教科書 プリント ファイル
2 学 期	3 編 エネルギー変換の技術 1 章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ・運動エネルギーへの変換と利用 ・機械が動く仕組み ・機器共通品と保守点検の大切さ 2 章 エネルギー変換の技術による問題解決 実習 紙模型の制作	○機械が運動を伝える仕組みがわかる。 （直線運動、回転運動、揺動運動） ○リンク機構やカム機構について理解する。 ○機械の保守点検の重要性がわかる。 ○リンク装置を活用した作品を作成できる。	
3 学 期	4 編 情報の技術 1 章 情報の技術の原理・法則と仕組み ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報セキュリティと情報モラル ・安全に利用するための情報モラル 2 章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ・双方向性のあるコンテンツとは 3 章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ・計測・制御の仕組み ・計測・制御システムを構想しよう ・計測・制御システムのプログラムの製作 ・情報の技術の最適化	○情報通信ネットワークの仕組みを知る。 ○安心安全に情報システムを利用する方法がわかる。 ○情報の特性を理解して情報を安全に利用できる。 ○双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解する。 ○双方向性のあるコンテンツの利用方法を考えることができる。 ○計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れがわかる。 ○プログラムやプログラム言語とは何かわかる。 ○課題を解決するプログラムを作成することができる。 ○情報の技術の最適化について考えることができる。	
※テストの予定 単元毎にテストや小テストを実施予定しています。 ※学習状況に応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。			

通知表の付け方			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	生活や技術について基礎的な理解を深めるとともに、それらに係る知識・技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決を目指して評価・改善し、表現するなど適切に工夫・創造している。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し充実向上するために主体的に実践しようとしている。
評価方法	単元・小テスト 作品 実技テスト 振り返りシート など	単元・小テスト レポート 作品 振り返りシート パフォーマンステスト など	パフォーマンステスト レポート 振り返りシート 学習の整理 など